

年間 自己チェック評価表

<<自己チェック表から見えてくるもの>>

--	--

3歳以上児・3歳未満児クラス担任代表者、園長

	今年度の評価点 (教育・保育や自己資質等で 高く評価できる点)	今年度の課題点 (教育・保育や自己資質等で より努力を要する点)	次年度の改善点 (教育・保育や自己資質等で 次年度に改善すべき点)
クラス 3歳未満児 評価	運動会や発表会等の行事を前年度よりもたくさん実施することができ、保護者に子どもたちのいつもの様子を伝えることができた。	担任同士の話し合いが行えたが、未満児の保育者全体の話し合いが日々の保育に追われ、行事等の話をする時間が取れず、各クラスの様子が把握できていなかった。	各クラスの子どもたちの成長の姿や体調、保育の進め方、行事等、限られた時間の中で保育者同士話し合える環境づくりが必要と感じた。
クラス 3歳以上 運営 評価	子どもたちが遊びたい、今やりたいと興味・関心のあることを展開できるように環境を整えることができた。 また、チームワーク良く教育・保育が進められるようクラスの枠を越えて、お互い声を掛け合う臨機応変に補えるよう努めた。	自園の保育理念について理解し、伝統を大切にしながら教育・保育に取り入れているが、コロナ禍や時代の変化、保護者の要望なども踏まえ、園の良さや特徴を大切に残しつつ、教育・保育をどのように進めていくべきか、クラス担任として、また主幹教諭として考えていきたい。	全体の情報の共有化が不足していると感じた。会議録を回覧したり、朝礼、終礼などを行い、全体の共有化を促進すべき。 また、職員一人ひとりが役割意識を持って責任を果たしていくことを進める。
園 全体 評価	子どもたち一人ひとりの気持ちを大切にしながら、成長や発達に配慮した教育・保育への取り組みが出来た。 また、支援が必要な児童に対しても保護者の方や療育の職員等と連絡を密にし、細やかな支援が出来るよう努めた。 保護者の方へは普段の保育の様子を観ていただけるよう、保育参観を行った。	コロナ禍においてまだまだ密をさけたり、日々の感染症対策に多くの時間を要していた。 少しずつ行事を元に戻そうと努力はしてきているものの全体での話し合いの場が持てず、正しい情報の共有がされなかったとの声が多かった。	各クラスであがった情報を、他クラス・全体の職員へと共有できるように、会議への出席者だけでなく、文書にて確認し、分からないことは質問しやすい環境づくりをしていきたい。 個人も含め、園全体の資質向上に努めたい。
特 記	<p>今年度の評価を踏まえ、次年度「指導計画」に盛り込む目標やねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりの評価では到達点に差が大きく感じられ、前回理解できていたものが“ふつう”との評価となったり、その時々によって個人の評価に変動がみられた。 引き続き、子どもの家庭環境や発達状況を考慮した計画を目標に指導計画を立てる。 		